

第 234 回
定例探鳥会

日時：2006 年 6 月 11 日 (日) 天候：雨
コース：高来神社 花水橋 (花水川左岸) 高麗大橋 平塚大橋手前 高麗大橋

朝 6 時に起きると小雨が降っていましたが、天気予報では回復の方向なので、集合場所の高来神社へ。7 時過ぎから一人二人と集まってきます。傘をたためない雨で、中止にしようかと悩んでいましたが、来る人みな笑顔です。集合時間の 7:30 には 17 人ものつわものが集まっていました。4 月に行った雨中の市民探鳥会に参加した小学校 1 年生の女の子も親子でやってきました。もちろんカッパを着て準備万端です。

高麗山上空をアオバトが十数羽の群れで何度も飛びました。朝早くから照ヶ崎で観察しているこまたんメンバーから携帯で「すでに 70 羽以上の群れが飛来している」と連絡が入りました。例年より少し遅れているようですが、アオバトの飛来数がぐんと増えてきました。後で聞いた報告によると、6 時から 10 時までの間に 1,648 羽の飛来を数えたとのこと。

さて探鳥会は、この雨では山道は危険ですが、集まったみんなの根性に承えて、今日は中止にしないで花水川の土手を歩くことにしました。花水川への途中、こまたんメンバーがずっと見守っているアオサギの巣を観察。すっかり大きくなった幼鳥は、日中は川へ出て行きますが、今朝は巣の上に立っていました。小鳥と違って徐々に巣離れしていくのでしょうか。それとも甘えん坊なのか？ マガモがいるとの声。よく見るとずいぶん大きいハイブリッドのようです。遠く対岸に止まったカワセミを望遠鏡で観察。先ほどの女の子は正面から見たカワセミの顔を「タヌキみたい！」と…。素直で新鮮な感性に一同さらに笑顔。ツバメが 3 羽、川面にせり出したヨシの茎に止まっているのを見つけました。黄色いくちばしで幼鳥とわかります。飛んできた親鳥から餌をもらう瞬間を見たラッキーな人もいました。川の中にたたずむ灰色っぽい鳥がいました。ササゴイです。じっくりと見ることのできる機会が少ないササゴイですが、黄色い目先など望遠鏡でしっかり確認できました。雨の中を歩く我々にごほうびでした。

探鳥会終了後、大磯町郷土資料館で開かれている「アオバトのふしぎ展」へ駆けつけました。新聞で展示会の紹介記事を見てわざわざ相模原から来たアオバト好きの方や家族で展示会を見に来てくれた方たちにじっくりとアオバトのふしぎを解説し、こちらも楽しませてもらいました。

参加者

参加人数 17 名 (敬称略)

- | | | | | |
|-------------|--------------|-----------|-----------|------------|
| 1. 佐藤 忠史 | 2. 下倉 統一 | 3. 古尾谷 七郎 | 4. 山田 文則 | 5. 西花 きよみ |
| 6. 鈴木 逸子 | 7. 八木 正 | 8. 関谷 育雄 | 9. 関谷 昂 | 10. 別所 三郎 |
| 11. 武末 範子 | 12. 小林 誠 | 13. 小林 悦子 | 14. 小林 芽衣 | 15. (田端 裕) |
| 16. (金子 典芳) | 17. (内山 規矩雄) | | | |

見聞きした鳥

種類数 23 種 (sp を含む)

- | | | | | |
|------------|-------------|-------------|-----------|-----------|
| 1. カワウ | 2. アオサギ | 3. コサギ | 4. ササゴイ | 5. トビ |
| 6. カルガモ | 7. キジバト | 8. アオバト | 9. ドバト | 10. ホトトギス |
| 11. カワセミ | 12. コゲラ | 13. ツバメ | 14. イワツバメ | 15. ヒヨドリ |
| 16. シジュウカラ | 17. メジロ | 18. カワラヒワ | 19. スズメ | 20. ムクドリ |
| 21. オナガ | 22. ハシボソガラス | 23. ハシブトガラス | | |

参考：マガモのハイブリッド

企画展「アオバトのふしぎ」

～ アオバト観察会・ミュージアムトーク、後期展示開幕

5月28日にスタートした大磯町郷土資料館の企画展「アオバトのふしぎ」も約1ヶ月が経ち、6月25日(日)に前期展示の最終日を迎えました。この日は、早朝からの「アオバト観察会」と午後の「ミュージアムトーク」と、二つの企画展関連行事が行われました。

「アオバト観察会」は午前7時に照ヶ崎海岸でスタートです。梅雨の真っ最中で雨が心配されましたが、曇りで気温は高くなく、海岸での観察にはちょうど良い天気でした。展示会のパンフレットや大磯町の広報で案内を見たという方が次々と海岸に集まってきました。アオバトも数羽から



20羽くらいの群れで次々に飛来してきました。70～80羽くらいの大きな群れも見られました。岩礁の近くに人が集まっているので、近くの岩場にはなかなか降りず、遠くの方に降りて海水を吸飲していましたが、望遠鏡を使えばハッキリと観察することができました。9時に観察会が終了するまでに80名近くの参加者で大変にぎわっていました。この観察会はTVK(テレビ神奈川)の取材を受けて、企画展の様子とともに6月29日(木)のお昼の番組の中で約15分間放映されました。

「ミュージアムトーク」は午後1時から郷土資料館の研修室で行われました。「アオバトのふしぎ」というテーマで、こまたんの紹介に始まり、アオバト調査・観察の変遷・歴史、繁殖の確認、冬の暮らしなどを金子さんと斎藤さんが映像をまじえながら約1時間講演しました。約20分の繁殖調査のビデオの上映もあり72名の聴衆が熱心に聞き入っていました。



6月26日から7月3日の中休み(燻蒸期間)も終わり、7月4日(火)から後期展示が始まりました。26日(月)にはこまたんの平日組(10名参加)が展示替えを行いました。事前のパネル作成や綿密な展示場所の打ち合わせのおかげで、9時からの作業が12時を少し過ぎたところで順調に完了しました。

後期のテーマは「どんな暮らしをしているのか?」です。近年わかってきたアオバトの一年を通した暮らしを紹介する「アオバトの暮らし」、各地方での呼び名・アオバトにまつわる生活伝承や民



話を紹介する「アオバト民族学」、古文書に記載されているアオバトの姿・呼び名などを紹介する「アオバトの文献記録」の三つのコーナーでアオバトの暮らしに迫ります。特に京都御苑での冬のアオバトの調査記録や照ヶ崎での幼鳥の観察記録は見応えがあります。



前期よりもさらに内容が濃くなった後期展示は7月30日(日)までです。まだ見ていない方はもちろん、前期をご覧になった方も、是非ご来場ください。最終日には照ヶ崎のアオバト観察会もあります。

会 場 : 大磯町郷土資料館 入館無料

開館時間 : 午前9時 ~ 午後4時30分 (入館は午後4時まで)

会 期 : 2006年5月28日(日)から7月30日(日)

休 館 日 : 毎週月曜日(7月17日は除く)、毎月1日、祝日の翌日、燻蒸期間中
燻蒸期間(予定) ... 6月26日~7月3日

会期中の休館日 ... 5/29、6/1、6/5、6/12、6/19、6/26~7/3、7/10、7/18、7/24

アクセス : JR 東海道線・大磯駅下車

バ ス ... 二宮駅行・国府津駅行・湘南大磯住宅行で「城山公園前」下車、徒歩5分
徒 歩 ... 30分(大磯駅から約2km)

関連行事 : アオバト観察会 ... 照ヶ崎海岸にて5月28日(日)、6月25日(日)、7月30日(日)
午前7時~9時 実施時間内に自由に参加 雨天決行

ミュージアムトーク ... 郷土資料館 研修室 6月25日(日) 午後1時~3時
定員70人 事前の申し込みは不要です

アオバト探検隊がお話と映像で「アオバトのふしぎ」を語ります

問い合わせ先 : 大磯町郷土資料館 0463-61-4700 または 別記こまたん連絡先

【お知らせ】

定例カウント調査

吉沢 & 土屋 2006年8月5日(第1土曜日)

鷹取山 2006年8月12日(第2土曜日)

午前6時に高麗ハイツとなりの駐車場(青空市場)に集合、車で移動します。または6時15分までに、第1土曜日は松岩寺駐車場、第2土曜日は東の池に直接来られても結構です。参加の連絡は不要ですが、いずれも時間が来れば出発してしまいますので、時間厳守をお願いします。午前中に解散。雨天中止。

問い合わせ・連絡先

岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

鳥 報

こまたんメンバーのフィールドでの観察記録から主なものをご紹介します。

照ヶ崎海岸のアオバト飛来状況

日付	天気	観察時間		飛来回数	飛来数				瞬間最大
		開始	終了				不明	合計	
6/4		4:15	10:00	30	-	-	562	562	65
6/11		6:00	10:00	46	-	-	1648	1648	200+
6/18		6:00	10:00	38	-	-	1132	1132	87
6/24		6:00	10:00	53	-	-	913	913	60+
6/25		10:00	11:00	10	-	-	258	258	65+
6/28		17:20	18:00	2	9	6	18	33	28

その他の地域でのアオバト情報

6/6 京都府・北の峰床山、2羽が上空を飛ぶ。6/7 愛知県・海上の森、鳴き声。6/8 大阪府高槻市、鳴き声。6/17 国府津、鳴き声。6/18 静岡県清水・海岸、15羽の群れ。6/18 北海道・張碓海岸、群れで飛来。6/25 藤沢市・江ノ島、1羽が海水を吸飲。6/27 二宮町・海岸、マツにとまったり飛翔を観察。7/1 中央高速道路・双葉 SA、16羽が南南西に飛ぶ。吉沢、鷹取山・土屋でも多数が観察されている。

花水川・平塚大橋付近のサギねぐら調査

観察日	天気	アオサギ	ダイサギ	チュウサギ	アマサギ	コサギ	ゴイサギ	ササゴイ	合計
6/2		3	0	0	0	9	0	0	12
6/13		1	0	0	0	7	3	2	13
6/20		1	0	0	0	2	2	1	6
6/27		1	0	0	0	6	2	0	9
6/30		1	0	0	0	1	1	0	3

花水川の近くで繁殖していたアオサギが6月10日の午後に巣立ちました。孵化から59日目です。親と一緒に川で餌取り(特訓中?)しているところが観察されています。

その他の野鳥情報

クマタカ : 5/5 福井県・鳩ヶ湯温泉、宿の窓から目撃、1羽が飛翔

入笠山(長野県)の野鳥 : 7/1~2 こまたん有志が出かけたときの記録(行程途中も含む)

カイツブリ、アオサギ、トビ、ノスリ、カルガモ、キジ、キジバト、アオバト、ドバト、カッコウ、ホトトギス、アマツバメ、コゲラ、アカゲラ、ヒバリ、ツバメ、イワツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ピンズイ、ヒヨドリ、モズ、カワガラス、ミソサザイ、コマドリ、コルリ、ルリビタキ、ノビタキ、アカハラ、ウグイス、コヨシキリ、メボソムシクイ、コメボソムシクイ、エゾムシクイ、センダイムシクイ、クイタダキ、セッカ、キビタキ、オオルリ、エナガ、コガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、メジロ、ホオジロ、ホオアカ、カシラダカ、アオジ、カワラヒワ、イカル、スズメ、コムクドリ、ムクドリ、カケス、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス ... 種類不明の白いサギを含めて60種でした

次回の定例探鳥会は2006年8月13日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第233号 / 7月号 発行所:こまたん

斎藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www.komatan.jp/>

日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/>